

# 2021年度 事業報告書

2021年4月1日から

2022年3月31日まで

学校法人 光源寺学園

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人 光源寺学園（昭和 57 年 3 月 30 日法人設立）

代表者 理事長 中院 喜久子

住 所 大阪市平野区平野本町 4 丁目 11 番 5 号

電 話 06-6793-5005

F A X 06-9793-9091

設置する学校

住 所 大阪市平野区平野本町 4 丁目 11 番 5 号

名 称 光源寺幼稚園

役 員 （監事 2 名 理事 6 名） 評議員 13 名

理事会・評議員会 年 2 回開催

職 員 25 名

## 2. 事業の概要

（ 光源寺幼稚園 ）

《教育方針》

明るく、正しく、仲のよい子

《教育内容》

家庭的な雰囲気の中で心身ともにリラックスして生活し、一人一人が自己啓発できるような関わりを大切にしている。園内の田んぼや畑で米や野菜を栽培、収穫、野草摘み、小動物とふれあいなどを通じて「いのちの大切さ」を直接体験している。

園児数 ( )内は 2 号認定数 ※ 園児数は 4 月 1 日現在

	3 歳児		4 歳児		5 歳児		合 計	
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数
認可定員	2	60(10)	2	70(10)	2	70(10)	6	200(30)
2020 年度	2	43(7)	2	43(6)	2	44(7)	6	130(20)
2021 年度	2	37(3)	2	43(10)	2	39(7)	6	119(20)
2022 年度	2	38(8)	2	37(10)	2	43(17)	6	118(35)

《開園時間》 7 : 30 ~ 18 : 30

《教育時間》 月 ~ 金曜日 9 : 00 ~ 14 : 30 第 1 ・ 3 土曜日 9 : 00 ~ 11 : 30

夏季・冬季・春季保育は自由登園 預かり保育実施

《預かり保育 時間費用 2 号認定は無償》

平日	第 1 ・ 3 土曜日 及び夏・冬・春季自由登園日	
1 号・新 2 号共通	1 号・新 2 号共通	新 2 号
14 : 40 ~ 17 : 00 日額 450 円	11 : 40 ~ 14 : 00 日額 450 円	11 : 40 ~ 18 : 30
14 : 40 ~ 18 : 30 日額 800 円	11 : 40 ~ 16 : 30 日額 1,000 円	日額 1,250 円
※新 2 号は 1 日 450 円無償	※新 2 号は 1 日 450 円無償	

《諸費用》

項目	園児 1 名につき	
入園準備金	50,000 円	
教育充実費	年額 54,000 円 (一ヶ月 4,500 円)	
給食費 (1 食 440 円)	実費徴収 一ヶ月 約 9,240 円	
お茶代・肝油代 1 ヶ月	200 円	
教材費 (年額)	年少児 6,650 円 年中児 7,490 円 年長児 7,760 円	
制服 (男女兼用))	32,280 円	
体操服(男女兼用)	10,650 円	
通園カバン	4,000 円	
入講証	160 円	
P T A 会費	PTA 活動休止につき無	
年長 積立金	年額 9,600 円	

《行事》

入園式、花まつり、遠足、各種野菜・花の栽培、田植え、七夕まつり、盆まつり、運動会、作品展、報恩講、卒園式、誕生会、お話し会、図書解放、(生活発表会は中止)

《施設関係》

園全体面積 4276 m<sup>2</sup>  
(内) 運動場・畑・プール 1745 m<sup>2</sup>

《設備関係》

シャッター新調 西園舎屋根工事

《長期計画》

減価償却引当預金を着実に保持している。

## 《事業報告》

2021年度は新型コロナウイルスの感染状況が11月から年明けまでには第5波が収まり社会・経済活動の再開で進展するかと思われたが、1年半ばより感染力の強いオミクロン株の第6波が全世界で拡大し、我が国においても驚くような感染状況が続く中で新年度を迎えました。更に、冬季オリンピック閉会の日、ロシア軍によるウクライナ侵攻の戦争が勃発し世界は新型コロナウイルス以上の課題を抱え、暗黒の状況に陥っています。

世界中が一刻も早い戦争の終結を願っております。

さて2015年4月よりスタートした子ども子育て支援新制度は2022年度では6割近い園が移行し171園が私学助成で園を運営しています。一方2021年の出生率は84万2,897人となり急激な少子化が進行しています。婚姻数も前年度より12%以上減少していることから2022年以降は一層の少子化が進み、80万人に割り込むことが予想されています。

また、採用状況も依然として厳しい状況が続いています。幼稚園教諭・保育士の育成校も生き残りをかけ学生確保に取り組んでいますが、大阪府内の殆どの育成校では定員を確保出来ていない状況になっています。更に受験生の多くは4年制大学指向が強くなり、幼稚園教諭の免許及び保育士資格を取得した場合でも企業への就職意欲が強くなり、認定こども園幼稚園に応募することが極端に少なくなっています。

当園としては、安定した事業継続を図るため、地域の少子化進行状況及び育成校はもとより、人材派遣会社等から教職員採用状況を調査・検討し、実態をしっかりと見定めてまいります。また、戦争と新型コロナウイルスの影響は当分続くものと思われ景気の落ち込みなど保護者世帯の家計も厳しい状況となると考えられることから、慎重に対応していくことといたします。そこで、収入を安定させるため、施設給付費の加算等の内容を十分に把握し、事務を効率化し確実に対応します。

財政面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が168,415千円（前年度139,346千円）、教育活動支出計が154,430千円（前年度135,690千円）、教育活動収支差額13,985千円（前年度3,656千円）、経常収支差額比率8.31%の経営状況となりました。また、人件費比率(人件費 / 教育活動収入計 + 教育活動外収入計)は、58.23%（全年度61.57%）となりました。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金(第4号基本金)の額を相当上回る額の支払い資金が保持できているので、資金繰りは問題有りません。

## 3. 財務状況

別紙参照。